

7月 たかた

コミュニティスクール高田
校長 河内 圭一
平成30年7月13日

体験の多い、充実した夏休みに！

いよいよ子どもたちが待ち望んでいる夏休みが始まります。子どもたちが健康で安全に過ごし、元気な顔で9月3日に登校してくることを職員一同待っています。特に、交通事故や誘拐等からの被害、水の事故やSNS等の事件や事故に引き込まれることがないことを願っています。学校での学級指導の他、「生活のしおり」も配付します、ご家庭や地域でも十分に話し合ってください。



夏休みは、各家庭の考え方で、自然との触れ合いや家庭・地域行事への参加、スポーツクラブ活動等の様々な活動が出来ます。自分で見つけた課題を考えて解決する、自分で決めた「めあて」に向かって工夫し努力するという体験は、子どもたちを大きく成長させると思います。また、善悪の判断や言葉遣い、きまりを守ること、親切や思いやりの行動など、大人をモデルにして学び取る良い機会だと思います。保護者の方々だけではなく、地域の方々も、高田小学校の子どもへの声かけ等、よろしく願います。

学運・P評・青少対等合同会での熱心な審議ありがとうございました。

6月29日（金）に「学運・P評・青少対等合同会」が本校ランチルームで行われました。そこでは、下記の内容について審議していただきました。その内容については、学校側としても大事に受け止め、今後対応していきたいと思えます。地域の方々のご協力に感謝いたしております。



- 全校宿泊訓練について
- 愛校作業について
- 廃品回収について
- 校区内外補導について
- 夏休みの生活について
- プール開放について
- 子ども110番の家について
- PTA球技大会について 等



今年も田植えを経験しました。



苗の植え方を説明される深町さん

6月22日（金）に、高田小学校全校田植えを行いました。1・2年生、3・4年生、5・6年生がそれぞれ1時間かけて、今年も田んぼと苗を提供していただきました深町 義則さんの田んぼに、苗を植えていきました。

子どもたちは、土に足を取られて四つん這いになったり、逆にしりもちをついたりして、楽しそうに苗を植えていました。

時間内に全部植え終わるかなと心配しましたが、5・6年生のがんばりで全部植え終わることができました。



児童会が、今回の西日本豪雨被害に関する募金を行います。

子どもたちの「川がはらんして、家に泥水が入ってきたり、車が動けなくなったりしていました。また、がけくずれが起こり、土石流で多く家や物が土砂にうまり、警察や自衛隊の人がいっしょうけんめいに埋まった人を救おうとされている様子も見ました。本当につらくて、悲しかったです。そこで、自分たちにできることはないかと考えました。」との思いから、児童会が中心になり、募金活動を行うことにしました。集まりました募金は、日本赤十字社を通じて被災地に届けます。

募金活動日・・・7月17日（火）、18日（水）、19日（木）、20日（金）

◎8：00～8：15 児童昇降口に募金箱を設置

*17日（火）、18日（水）の個人懇談の時には、職員室に募金箱を設置